

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-073841  
(43)Date of publication of application : 12.03.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60  
H04M 15/00

(21)Application number : 2000-266134

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 01.09.2000

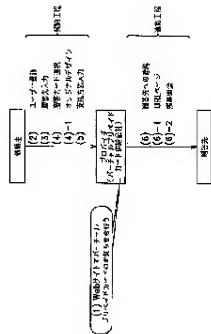
(72)Inventor : KAMIMURA MEGUMI  
KITA KAZUHIRO

## (54) SOFTWARE LICENSE TRANSFERRING METHOD ON NETWORK

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To electronically transfer a software license related to a communication service on a network from a client to a present partner without issuing a real card.

SOLUTION: This transferring method of transferring a virtual prepaid card roughly comprises a contract step performed between the client and a provider, and a communication step performed between the provider and the present partner. Before the contract step, the provider performs informing of the virtual prepaid card in a Web site of the Internet. In the contract step, the client makes a contract about a present service of the virtual prepaid card with the provider through the Internet. In the communication step, the provider communicates the transfer of the virtual prepaid card to the present partner based on the contract in the contract step.



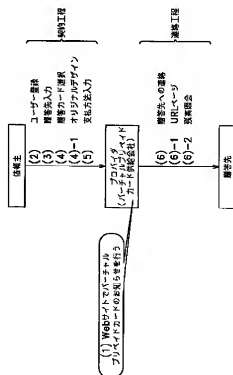
(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	データベース* (参考)
G 0 6 F 17/60	1 3 2 Z E C 3 0 2 3 3 2 3 4 0	G 0 6 F 17/60	1 3 2 5 B 0 4 9 Z E C 5 B 0 5 5 3 0 2 C 5 K 0 2 5 3 3 2 3 4 0
審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 9 頁) 最終頁に続く			
(21) 出願番号	特願2000-266134(P2000-266134)	(71) 出願人	000002185 ソニー株式会社 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 35 号
(22) 出願日	平成12年9月1日 (2000.9.1)	(72) 発明者	神村 めぐみ 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 35 号 ソニー株式会社内
		(72) 発明者	北 和浩 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 35 号 ソニー株式会社内
		(74) 代理人	100067736 弁理士 小池 晃 (外 2 名)
最終頁に続く			

## (54) 【発明の名称】 ネットワーク上の利用権譲渡方法

## (57) 【要約】

【課題】 実物のカードを発行することなく、ネットワーク上の通信サービスに関する利用権を依頼主から贈答先に電子的に譲渡する。

【解決手段】 バーチャルプリペイドカードの譲渡方法は大きく分けると、依頼主とプロバイダーとの間で行われる契約工程と、プロバイダーと贈答先との間で行われる連絡工程とからなる。なお、契約工程の前にはプロバイダーがインターネットのWebサイトで上記バーチャルプリペイドカードのお知らせを行う工程がある。契約工程は、依頼主がインターネットを介して上記プロバイダーと上記バーチャルプリペイドカードの贈答サービスに関する契約を結ぶ工程である。また、連絡工程は、上記契約工程の契約に基づいて上記プロバイダーが上記贈答先に上記バーチャルプリペイドカードの譲渡に関する連絡を行う工程である。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 ネットワーク上の特定のプロバイダーの通信サービスを利用できる利用権を依頼主から贈答先に電子的に譲渡するためのネットワーク上の利用権譲渡方法であって、

上記依頼主がネットワークを介して上記特定のプロバイダーと上記利用権の贈答サービスに関する契約を結ぶ契約工程と、

上記契約に基づいて上記特定のプロバイダーが上記贈答先に上記ネットワーク上の通信サービスの利用権の譲渡に関する連絡を行う連絡工程とを備えることを特徴とするネットワーク上の利用権譲渡方法。

【請求項2】 上記利用権の譲渡は、上記ネットワーク上での使用を可とした仮想プリペイドカードの形態で行われることを特徴とする請求項1記載のネットワーク上の利用権譲渡方法。

【請求項3】 上記契約工程は、上記依頼主がユーザーとして登録するユーザー登録工程と、上記贈答先に関する連絡事項の入力工程と、贈答の対象となる仮想プリペイドカードの選択工程と、上記仮想プリペイドカードの料金の支払い方法の入力工程とからなることを特徴とする請求項2記載のネットワーク上の利用権譲渡方法。

【請求項4】 上記連絡工程は、上記贈答先が電子メールアドレスを持っている場合、上記仮想プリペイドカードを見るためのURLと通信サービスに接続するための手順とパスワードとを電子メールにて連絡することを特徴とする請求項2記載のネットワーク上の利用権譲渡方法。

【請求項5】 上記連絡工程は、上記贈答先が電子メールアドレスを持っていない場合、上記通信サービスを受けるために上記プロバイダーと接続するための接続キットと、その説明とを送付することを特徴とする請求項2記載のネットワーク上の利用権譲渡方法。

【請求項6】 上記利用権は、ネットワーク上での通信サービスにおける使用権や、上記通信サービスに基づいた買い物を利用するための権利であることを特徴とする請求項1記載のネットワーク上の利用権譲渡方法。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワーク上の利用権情報方法に関し、特にネットワーク上の特定のプロバイダーの通信サービスを利用できる利用権を依頼主から贈答先に電子的に譲渡するためのネットワーク上の利用権譲渡方法に関する。

**【0002】**

【従来の技術】インターネットを通じて電話をかけるサービスがある。特に国際区間をインターネット経由によることで低料金で国際電話をかけられる。このサービスには、例えばプリペイドカードによってプロバイダー経由でインターネットに接続するものがある。

**【0003】**

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記プリペイドカードを用いるサービスでは、使用者がカードを実際に購入し、そのカードが手元に存在している必要がある。このように、カード使用者がカード購入者であるため、プロバイダー未契約者にインターネットを利用する機会を与えない。

【0004】また、上記カードは、紙又はプラスチックの上にIDや度数を記録して発行し、かつ印刷を施すので手間がかかっていた。特に自作デザインによるものである場合には手間がかかる上にさらに印刷料がかかってしまっていた。

【0005】本発明は、上記実情に鑑みてなされたものであり、実物のカードを発行することなく、ネットワーク上の通信サービスに関する利用権を依頼主から贈答先に電子的に譲渡できるネットワーク上の利用権譲渡方法の提供を目的とする。

**【0006】**

【課題を解決するための手段】本発明に係るネットワーク上の利用権譲渡方法は、上記課題を解決するために、ネットワーク上の特定のプロバイダーの通信サービスを利用できる利用権を依頼主から贈答先に電子的に譲渡するためのネットワーク上の利用権譲渡方法であって、上記依頼主がネットワークを介して上記特定のプロバイダーと上記利用権の贈答サービスに関する契約を結ぶ契約工程と、上記契約に基づいて上記特定のプロバイダーが上記贈答先に上記ネットワーク上の通信サービスの利用権の譲渡に関する連絡を行う連絡工程とを備える。

【0007】上記方法において、上記利用権の譲渡は、上記ネットワーク上での使用を可とした仮想プリペイドカードの形態で行われる。

**【0008】**

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。先ず、本発明に係るネットワーク上の利用権譲渡方法の適用例の概略について図1を参照しながら説明する。この適用例は、図1に示すように、インターネット上で特定のプロバイダの仮想(バーチャル)プリペイドカードを依頼主から贈答先に譲渡するための方法である。バーチャルプリペイドカードは、通信サービスを利用できる利用権をカードの度数に応じた所有者に与えることができる仮想のカードであり、ネットワーク上だけで実在する。

【0009】このバーチャルプリペイドカードの譲渡方法は大きく分けて、依頼主とプロバイダー(バーチャルプリペイドカード供給会社)との間で行われる契約工程と、プロバイダーと贈答先との間で行われる連絡工程とからなる。なお、契約工程の前にはプロバイダーがインターネットのWebサイトで上記バーチャルプリペイドカードのお知らせを行う工程(1)がある。

【0010】契約工程は、依頼主がインターネットを介

して上記プロバイダーと上記バーチャルプリペイドカードの贈答サービスに関する契約を結ぶ工程である。この契約工程を細分化すると、上記依頼主がユーザーとして登録するユーザー登録工程(2)と、上記贈答先に関する連絡事項の入力工程(3)と、贈答の対象となる仮想プリペイドカードの選択工程(4)と、上記仮想プリペイドカードの料金の支払い方法の入力工程(5)という具合になる。

【0011】また、連絡工程は、上記契約工程の契約に基づいて上記プロバイダーが上記贈答先に上記バーチャルプリペイドカードの譲渡に関する連絡を行う工程

(6)である。この連絡工程は上記贈答先が電子メールアドレスを持っている場合、上記バーチャルプリペイドカードを見るためのURLと通信サービスに接続するための手順とパスワードとを電子メールにて連絡する。一方、上記贈答先が電子メールアドレスを持っていない場合、上記通信サービスを受けるために上記プロバイダーと接続するための接続キットと、その説明とを送付する。

【0012】上記バーチャルプリペイドカードの譲渡方法は、図2に示すシステムを構成する、ネットワークプロバイダー10とコンピュータ端末20と、インターネット30との間で実行される。

【0013】ネットワークプロバイダー10は、ローカルエリアネットワーク(LAN)11によりコンテンツサーバー12と、WWWサーバー13と、課金マネージャー部14と、ダイヤルアップサーバーとファイアーウォール部16とを接続している。課金マネージャー部14には顧客データベース17が接続されている。

【0014】コンテンツサーバー12は、ネットワークプロバイダー10が提供する、多様なコンテンツのサーバーである。バーチャルプリペイドカードのデザインも、このサーバーから供給される。

【0015】WWWサーバー13は、ネットワークプロバイダー10が開設するホームページを提供する。また、このサーバー13を経由して、コンテンツサーバー12のデータ、インターネット30に供給する。

【0016】課金マネージャー部14は、プロバイダーと契約した者の利用状況、ホームページ上での売買の管理を行う。

【0017】顧客データベース17には、依頼主により入力されたユーザー登録データや、贈答先のデータ等が記録されている他、登録バーチャルプリペイドカードの使用状況も記録される。

【0018】ダイヤルアップサーバー15は、依頼主のコンピュータ20と、ネットワークプロバイダー10を接続する。このサーバー15でユーザーのアカウントを管理し、利用状況を課金マネージャー部14に送る。

【0019】ファイアーウォール部16は、インターネット30を介しての不正なアクセスから、内部のLAN

11を保護する。

【0020】次に、上記システムで実行される、上記バーチャルプリペイドカードの譲渡方法の各工程の処理手順について図3及び図4のフローチャートを用いて説明する。また、インターネットに上記プロバイダー経由で接続している依頼主のコンピュータ端末のディスプレイ上の表示画面と、贈答先のコンピュータ端末のディスプレイ上の表示画面とを示した図も適宜に用いて説明する。

【0021】まず、上述したように、プロバイダー10がインターネット30のWebサイト上で上記バーチャルプリペイドカードのお知らせを行っており、これに依頼主がコンピュータ20を使って申し込みをしたところから始まる。図5にはプロバイダー10よるWebサイトでの上記バーチャルプリペイドカードのお知らせ画面を表示する。ここでは、バーチャルプリペイドカードによりインターネット接続、通信、電話、ネットショッピングが行えるという案内をしている。また、ユーザー登録、贈答カード選択、支払い方法の入力促すための操作表示を出している。これらの操作表示は例えばマウスで指し示すことのできるカーソルを当ててクリックすることを選択される。

【0022】そして、上記図5に示した表示画面を使い、依頼主がユーザー登録操作表示をクリックするステップS1でユーザー登録処理が行われる。ユーザー登録処理画面を図6に示す。ここで、依頼主は、送主のデータとなる、氏名、住所、電子メールアドレス、年齢などのデータをコンピュータ端末のキーボードから入力する。また、依頼主は、贈答先のデータとなる、贈答先氏名、住所、電子メールアドレスの有無、電話番号などのデータを図7に示す贈答先入力画面を使ってキーボードから入力する。これにより、ネットワークプロバイダー10の顧客データベース17が構築される。

【0023】図8及び図9には、顧客データベースの構造を示す。図8は顧客一覧を示し、図9はユーザー別のデータを示す。ユーザーID1は、送主が、バーチャルプリペイドカードサービスを申し込んだときに付加するIDである。このIDは、プリペイドカードの残高が0円になるまで有効である。バーチャルプリペイドカードを送られた方(贈答先)が、そのプロバイダーと契約した場合、ユーザーID2を発行し、その後、そのIDで管理する。

【0024】次に、ステップS2でバーチャルプリペイドカードの選択を図10に示すカード選択表示画面で行う。カードはコンピュータグラフィックなどで作成され、画面上だけのものである。選択されるカードのデザインモデルを幾つか用意している。いずれかのデザインモデルを選択した度数を持たせる。申込者(依頼主)は、上記デザインモデルでカードのデザインを選択するが、自分で作成したデザイン(オリジナルデザイン)を

使用することも可能である。

【0025】次に、ステップS3にて上記ステップS2で選択したカードはプロバイダー10が用意した物か否かを判断する。ここで、プロバイダー10が用意したものでなければステップS4に進む。このステップS4では、カードの送付方法を、画像送付ページよりするか否かが判断される。図11に表示画面を示す。すなわち、カードを、プロバイダーが用意した、画像送付ページより送付するか否かが選択される。YESが選択されれば、ステップS5に進んで、プロバイダー10が用意した、画像送付ページより送付される。

【0026】ステップS6以下の処理は、プロバイダーから贈答先へ連絡する処理である。即ち、ステップS6にて贈答先が電子メールアドレスを持っているか否かが判断され、持っているのであればステップS7に進んで、送り主と同じプロバイダーに契約しているか否かが判断される。送り主と同じプロバイダーと契約しているのであれば、ステップS8に進んで現在のアカウントを利用し、ステップS9により電子メールで贈答先に連絡する。一方、ステップS7において送り主と異なるプロバイダーと契約していることが分かれば、ステップS10に進んで、プリペイドカード用のアカウントを作成し、ステップS11により電子メールで連絡する。

【0027】ステップS6に戻り、贈答先が電子メールを持っていないことが判明すれば、ステップS12に進み、プリペイド用アカウントを作成し、ステップS13にてプロバイダーに接続するための、接続キット(CD-ROM)を郵送する。

【0028】ステップS9、S11及びS13における贈答先への連絡では、図12の表示画面例に示すように、このお知らせが、バーチャルプリペイドカードの贈り物であること、バーチャルプリペイドカードの説明、使用方法、プロバイダーへの接続方法などを明らかにする。

【0029】ステップS6以下の処理をまとめると、以下のようになる。先ず、贈答先が電子メールアドレスを持っている場合について説明する。プロバイダーから贈答先へ「バーチャルプリペイドカードを見るためのURL」と「プロバイダーに接続するための手順」とパスワードが電子メールにて連絡される。そのURLには「バーチャルプリペイドカードの説明」、「依頼主からのメッセージ」等が記載されている。

【0030】上記電子メールの具体例は以下のとおりである。

【0031】「――様  
このメールは、バーチャルプリペイドカードのお知らせです。z z z 様よりおくりました。  
ユーザーID: AA0000△×  
パスワード: x x x x x x  
利用可能金額: ¥10,000

カードを見るためのアドレス: <http://www.aaa.bbb.co.jp/zzz>  
==

下記方法で、当社に接続できます。

アクセスポイントの電話番号: 03-xxx-aaa

IPアドレス: サーバーが設定する

DNSサーバー: 192.yyy.333

ゲートウェイ: サーバーが設定するもしくは、設定しない。

注: このIDは、プリペイドカードの残高が0円になるまで有効です。0円になった時点で、アクセスすることができなくなります。別途契約を行うことで、引き続き当社をご利用いただけます。バーチャルプリペイドカードとは、当社の、お客様のデータベースに、予め一定金額を入金してあります。そのデータベースの残高が無くなるまで、当社のサービスを受けることができます。贈答主が費用を負担して、第三者に当社のサービスを使ってもらいたいときなどに使用されます。贈答の際、コンピュータグラフィックスで作成されたカードも同時に送りますので、プリペイドカードの感覚で使うことができます。このカードは当社が用意したものに加え、お客様が作成されたものも送ることができます。」

【0032】なお、この連絡工程では、贈答先が送り主と同じプロバイダーと契約しているかないかで処理が分岐する。すなわち、同じプロバイダーと契約している場合、現在のアカウントを利用し、依頼主の月々の請求から自動的に精算する。これに対して同じプロバイダーと契約していない場合、電話番号、インターネットの設定を変更し、再接続を勧める。

【0033】次に、贈答先が電子メールを持っていない場合について説明する。プロバイダー-接続のための「スターターキット」と「その説明」を通常郵便で郵送する。接続が完了すると、プロバイダーから贈答先へ、「バーチャルプリペイドカードを見るためのURL」とパスワードが電子メールにて連絡される。そのURLには「バーチャルプリペイドカードの説明」、「依頼主からのメッセージ」等が記載されている。

【0034】なお、上記図3及び図4のフローチャートには、支払い方法の入力についての処理を記載していないが、プロバイダーから贈答先への連絡の処理の前、つまりステップS6より前の契約工程に入る。この支払い方法入力の入力表示画面例を図13に示す。ここで、依頼主は支払い方法を選択する。銀行振込、クレジットカード、請求書払い等、複数考えられるが、この例では、クレジットカードを選択している。

【0035】この支払い方法入力処理により、依頼主とプロバイダーとの間の契約工程にかかわるデータ入力が完了し、プロバイダーにデータを送信した時点で契約が完了する。

【0036】図14には、贈答先が上記バーチャルプリ

バインドカードを使用し、プロバイダーへ残高を照会する残高照会の表示画面例を示す。パスワードの入力があればカード残高が度数表示される。この残高照会も上記連絡工程に含まれる。

【0037】以上説明したように、上記バーチャルプリペイドカードの譲渡方法は、プリペイドカードをバーチャル（仮想）としてインターネットのWeb上で存在させるため、カード発行を不要とする。

【0038】また、バーチャルプリペイドカードなのでデザインを増やしたり、オリジナルデザインをWeb上に載せることが容易となる。

【0039】また、バーチャルプリペイドカードを他人に譲渡できる仕組みとしたので、プロバイダー未契約者にインターネットを利用する機会を与えることができ、プロバイダーにとって潜在ニーズ探求効果がある。

【0040】

【発明の効果】本発明によれば、実物のカードを発行することなく、ネットワーク上の通信サービスに関する利用権を依頼主から贈答先に電子的に譲渡できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態となるバーチャルプリペイドカードの譲渡方法を説明するための図である。

【図2】上記バーチャルプリペイドカードの譲渡方法を実行するシステムの構成を示す図である。

【図3】上記バーチャルプリペイドカードの譲渡方法を上記システムが実行するときの手順（前半）を示すフローチャートである。

【図4】上記バーチャルプリペイドカードの譲渡方法を上記システムが実行するときの手順（後半）を示すフローチャートである。

【図5】Webサイトでの上記バーチャルプリペイドカードのお知らせ表示画面を示す図である。

【図6】ユーザー登録処理画面を示す図である。

【図7】贈答先入力画面を示す図である。

【図8】顧客データベースの顧客一覧を示す図である。

【図9】顧客データベースのユーザー別データを示す図である。

【図10】カード選択画面を示す図である。

【図11】カード送付方法入力画面を示す図である。

【図12】贈答先への連絡画面を示す図である。

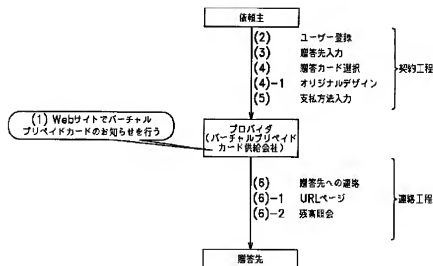
【図13】支払い方法を入力させる表示画面を示す図である。

【図14】残高照会画面を示す図である。

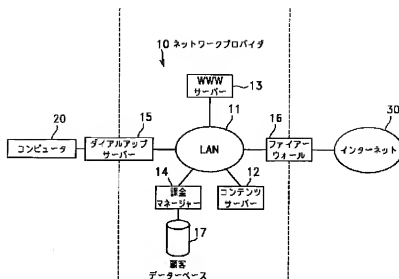
【符号の説明】

10 ネットワークプロバイダー、11 LAN、12 コンテンツサーバー、17 顧客データベース、20 コンピュータ端末、30 インターネット

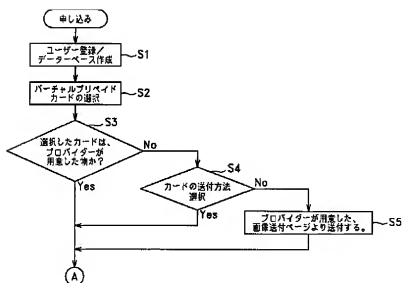
【図1】



【図2】



【図3】

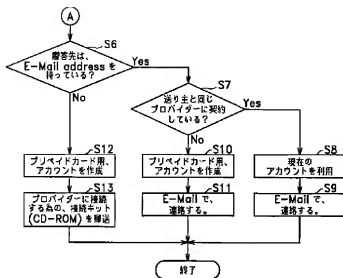


【図8】

顧客一覧：

No.	ユーザー ID 1	ユーザー ID 2	利用状況	カード残高	備考
1	AA000324001	xxx@aa	× 5,500	× 4,500	
2	AA000324002	xyy@aa	× 2,000	× 13,000	
3	AA000324003		× 1,500	× 3,500	
4	AA000324004	xyz@aa	× 3,000	× 7,000	
5	AA000324005		× 0	× 10,000	

【図4】



【図9】

ユーザー別:

ユーザーID 1:AA000324001
ユーザーID 2:
E-Mail Address:
氏名:
住所:
電話番号:
契約コース:
支払方法:

【図5】

あなたもバーチャルプリペイドカードを  
が友達に送っていませんか?  
※このカードでお友達にインターネット接続、通信、電話、  
ネットショッピングをさそってあげよう!!

**バーチャル  
プリペイドカード**

※このカードでお友達にインターネット接続、通信、電話、  
ネットショッピングをさそってあげよう!!

1000円  
¥ 1,000円

ユーザー登録  
顧客  
カード選択  
支払方法

【図6】

<ユーザー登録>

氏名  
ふりがな (ひらがな)  
電子メールアドレス  
年齢  
性別  
住所

プロバイダ契約番号  
※加入者は番号入力のみで結構です



【図7】

☆☆☆☆☆

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジャンプ(J) Communicator(C) ヘルプ(H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ 停止

http://

< 購読先入力 >

氏名

小りがな(ひらがな)

電子メールアドレス

あり

無

住所

電話番号

【図10】

☆☆☆☆☆

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジャンプ(J) Communicator(C) ヘルプ(H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ 停止

http://

Web 上でのカード選択

※カードを選択してください

バーチャルプリペイドカード 498 1,000

バーチャルプリペイドカード 498 1,000

バーチャルプリペイドカード 498 1,000

※金額を選択してください 100 200 300

※料金は1歳 10円

次ページ

オリジナルデザイン

【図11】

☆☆☆☆☆

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジャンプ(J) Communicator(C) ヘルプ(H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ 停止

http://

カードの送付方法

※カードの送付方法を、以下の通りとします

※画像送付ページより送付する。

YES NO

【図12】

☆☆☆☆☆

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジャンプ(J) Communicator(C) ヘルプ(H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ 停止

http://

< 依頼主〇〇さんからの贈り物 >

バーチャルインターネットカード

※このカードでインターネットやネットショッピング、電話が通じます。  
パスワードを入力すればカード使用可。

〇〇さんからのメッセージ

▲ ちゃんへ  
インターネットを使用したことがない▲ちゃん。  
一度試してみてください！ショッピングもできるよ！

【図13】

【図14】

フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60

H 0 4 M 15/00

識別記号

4 0 8

F I

G 0 6 F 17/60

H 0 4 M 15/00

メモコード' (参考)

4 0 8

Z

F ターム(参考) 5B049 BB00 BB17 CC05 CC08 CC16  
CC31 CC39 DD01 EE01 EE21  
EE23 EE25 FF03 FF04 GG04  
GG07  
5B055 BB20 CB10 CC10 EE02 EF03  
EE21 EE27 FA01 FB03 FB04  
KK07 KK18 PA02 PA34  
5K025 CC00